

H30. 2. 26 東淀川区区政会議（仮）健康・福祉部会 議事概要

※枠内は委員・議員意見、枠外は区役所職員

日時場所 平成 30 年 2 月 26 日(月)午後 7 時～ 東淀川区役所 3 階 304 会議室

出席者 (仮) 健康・福祉部会委員 6 名、他部会委員 1 名

議題 1 議長・副議長の選任について

小山議長、西田副議長を選任。

議題 2 部会名称について

「健康・福祉部会」に決定。

議題 3 平成29年度東淀川区運営方針 年度内振り返りについて

議題 4 平成30年度東淀川区運営方針（案）について

議題 5 これまでの意見へのフィードバックについて

(福祉について)

- 障がいの分野は、各相談機関の役割分担がわかりにくい。
- 継続的に課題に関わっていける支援機関がない。今後、誰がどのように関わっていくのか教えてほしい。
- はざまのケースなどわかりにくい相談内容も窓口がどこかわかりやすく区民に周知をするということを運営方針に記載してほしい。
- 複合課題の方など緊急性の高いものに行政が予算を多く割きながら、長期的に地域のネットワークの構築支援も行う。両輪の体制が必要では。
- 緊急性のある課題を抱えた方でも地域ではその課題に気づかないケースもある。
- （要支援の）赤信号になる前の黄色信号の段階での事例の改善への取り組みも必要では。
- 緊急かつ深刻な課題と長期的課題の 2 つがある。平成 30 年度予算では長期的課題の項目に重きが置かれているようだが、喫緊の課題の項目も入ってきてほしい。
- 2025 年まであと 7 年。東淀川区では喫緊の課題を浮き彫りにしていただき市や国に伝えていただいている。現場で起こっていることを発信し予算をつけていくこと。

- ・障がい分野の相談機関の役割について、各分野を委託する福祉局や健康局とともに、弁護士相談も活用しながら、それぞれがどう関わっていくか検討し、共有していきたい。
- ・複合課題に関して、福祉局は各ケースによって対応は少しずつ違う、チーム支援が大事という意見。制度のはざまの担当窓口が明確ではない中で、区役所の生活困窮担当では色々な課題に伴走型で各担当につないでいる。担当がわからないような課題にも率先して動いている。
- ・総合的な支援のモデル事業は、区でなく福祉局予算。大阪市として力を入れて予算をつけている。
- ・モデル事業は、行政と地域との両輪を含んだ内容で、まずは区役所の中の連携に力を入れているが、地域からの赤信号の方に関する連絡から会議に至った例もある。今後も地域からも協力をいただきながら支援していきたい。
- ・目に見える段階は大体が赤信号。黄色の段階の方を地域の皆様と協力しながらつなぎたい。
- ・喫緊の課題と長期的に取り組む課題、どう濃淡をつけていくか考えていきたい。

(健康について)

- 「安心して住み慣れた地域で過ごす」か「在宅医療を受ける」か目的がぼやけている。独居高齢者が多いなどの東淀川区の地域課題にも即しているのか。
- 供給可能なサービス量が2025・30年にどれだけあるのか、医療の需要と供給バランスが取れていることを見据えてマップ作成を。
- 地域活動協議会に介護事業者が入るよう啓発してほしい。働きかけている地域もある。
- がん検診や特定健診などいろんな健診が行われていることがよくわかった。
- 高齢化が進んでいるため、様々な検診時に認知症リスクチェックもできればいい。
- 一日一万歩でポイントなど介護予防活動の動機付けの取組みをしては。区のマラソンなどにつなげられればいい。
- 百歳体操だけでなく、口腔機能向上のかみかみ体操・認知症予防のしゃきしゃき体操などいろんな生活課題解消の取組みも集まっている人に普及していったらいい。
- 検診受診率の数値だけでは、高いのか低いのかわかりにくい。
- 現役世代の方の健康に対する意識向上をはかる取組みも必要では。
- ウォーキングやマラソンなどのファミリーイベントの取組みをしていただければ。
- 健康イベントは健康をめざすだけでなくふれあいや自助のなどの啓発もできる。

- ・人生の終末まで安心して在宅医療も受けられ仲良い人に見守られているところを目標にしている。
- ・マップに需要と供給のサービス量を区単位で数字で出すのは難しいが、局とも相談して検討する。
- ・介護事業所等が地活協に入って進めていただいている。地域別の保健福祉策定でも参画頂いていると思う。地域の皆さんに参画いただけるアプローチをしていきたい。
- ・特定検診にがん検診をセットして受診につながるようにしている。検診時に一緒に認知症リスクチェックという意見については、局に提案していきたい。
- ・大阪市も一日一万歩を目標にしている。ポイント事業については市全体での事業であり、局に提案していきたい。
- ・若い方もターゲットにした取組みに関して、今年は大阪経済大学との「OSAKA5GO!WALK」があったが、地域でスポーツに取り組む団体などとも連携してやっていきたい。
- ・百歳体操にかみかみ体操やしゃきしゃき体操も加えて発展していけたらいい。地域でも色々な取組みをしていただいている。
- ・検診受診率は24区中では高い順位。パーセンテージではなく検診受診者数など、わかりやすい方法でお示しするようにしたい。